

## 再評価結果(令和7年度事業継続箇所)

担当課:都市局 街路交通施設課

担当課長名: 青柳 太

事業名	スマートICアクセス 都市計画道路 大通り	事業区分	街路	事業主体	栃木県	
起終点	自: 栃木県宇都宮市桜3丁目 至: 栃木県宇都宮市駒生町			延長	3.4km	
事業概要						
都市計画道路大通りは、JR宇都宮駅から県都宇都宮市の中心市街地を通過し、東北自動車道(仮称)大谷スマートICと接続する、延長約6.3kmの都市計画道路であり、(仮称)大谷スマートICと宇都宮市街地とのアクセス向上、自転車歩行者の安全確保、渋滞解消を目的とし宇都宮市桜3丁目～同市駒生町までの延長約3.4kmを整備するものである。						
H20年度事業化		S7年度都市計画決定 (H13、H15、H30年度変更)		H20年度用地着手		
				H24年度工事着手		
全体事業費		約177億円		事業進捗率		
				約89%		
				供用済延長		
				0.9km		
計画交通量		26,100台/日				
費用対効果分析	B/C	EIRR	総費用 (残事業)/(事業全体)		総便益 (残事業)/(事業全体)	
	(事業全体)	(事業全体)	18/238億円		213/278億円	
	1.2	4.6%	事業費: 16/235億円 維持管理費: 1.7/2.6億円		走行時間短縮便益: 184/247億円 走行経費減少便益: 27/27億円 交通事故減少便益: 3.1/4.6億円	
	2.2 [2%]					
	3.2 [1%]					
	(残事業)	(残事業)				
11.9	33.7%					
17.2 [2%]						
21.2 [1%]						
		感度分析	(事業全体)		(残事業)	
			交通量	B/C=1.05~1.28(±10%)	交通量	B/C=10.68~13.06(±10%)
			事業費	B/C=1.06~1.30(±10%)	事業費	B/C=10.79~13.19(±10%)
			事業期間	B/C=1.09~1.25(±20%)	事業期間	B/C=11.60~12.06(±20%)
事業の効果等						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北自動車道(仮称)大谷スマートICと宇都宮市街地を結ぶルートとしてのアクセス強化</li> <li>・歩行者・自転車の安全で快適な通行空間の確保</li> <li>・円滑な交通機能の確保や路線バスの定時性の確保</li> <li>・救命救急活動や都市防災機能の強化</li> </ul>						
関係する地方公共団体等の意見						
宇都宮市から早期整備の要望を受けている。						
事業評価監視委員会の意見						
事業継続を妥当と認める。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等						
周辺環境等に特に変化はない。						
事業の進捗状況、残事業の内容等						
用地取得率約95%、事業進捗率約89%						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等						
残る用地の取得を継続しており、今後は早期完了を目指し、道路改良工事等を推進していく。						
施設の構造や工法の変更等						
再生材の利用や建設発生土の公共工事間流用や新技術の活用によるコスト削減を図る。						
対応方針		事業継続				
対応方針決定の理由						
事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。						

事業概要図



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。

※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。〔 〕内は社会的割引率の値)